

地域に根ざした「リフレッシュ理科教室」の運営と実施

Management and operation of a science classroom for the local area

岡山理大 米田 稔

Okayama Univ. of Sci. Minoru Yoneta

E-mail: yoneta@dap.ous.ac.jp

応用物理学会の「リフレッシュ理科教室」は、学校教育に携わっていらっしゃる教諭を主対象として、学校教育の中で利用できる理科実験や工作を取り入れ、最新の科学技術を知る機会を提供し、子供達に伝えてもらうことを狙いとする、という趣旨のもとで始まり、現在、各支部が中心となって開催されています。

そうした中、我が国の年齢構成に基づく社会構造変化や技術革新によるグローバル化の影響にて、次世代を担う若い世代には持続的可能な社会の担い手としての資質や能力が求められるようになりました。こうした社会的状況に対応するために、学校教育における理科教育分野には、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指すために、教材開発やICT教育環境等の整備が求められています。既に、一部の自治体では、学校教育における理数教育推進を進めるために「理科教育推進のための特別選考」を導入して積極的な理科教育分野の授業改善に取り組んでいますが、先述の社会的状況に応えるために今まで以上の要請に逼迫しつつある教育現場も垣間見られます。

本講演においては、中国四国地区（主に岡山地区）の学校教育における理科教育と連携して、約10年間に渡って展開して参りました“地域に根ざした「リフレッシュ理科教室」の運営と実施についてご報告いたします。